



愛知陸協広報

第30号

平成25年7月31日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url http://www.aichi-rk.jp/



会長のことば

一般財団法人愛知陸上競技協会 会長 稲垣 隆司

私は本年3月に伝統ある愛知陸上競技協会の会長に就任いたしました。会長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

私は幼い頃から走ることが大好きであり、中学一年生の時には学校の代表として、地元土岐市内一周駅伝に出場しました。しかし、その時の無理がたたり急性腎炎を患い、その後中学、高校時代は医師から過激な運動をしないよう指示されていたため、高校時代は弓道で心の鍛錬をしていました。

大学に入学してからは、元来スポーツが好きであったため、野球部に籍を置き、スポーツを楽しんでいました。私が入学した大学は全学生数が約500人、うち女子学生が半数を占める薬学専門の単科大学であったため、陸上部においては駅伝大会に出場するにしても陸上部員のみでは参加できない状況でありました。このため私は陸上部監督から請われて、春と秋の野球のリーグ戦がある時期は野球部に、そして、全日本医師薬獣医陸上大会がある夏と、東海学生駅伝大会がある冬は陸上部に籍を置いて、野球と陸上を楽しむ学生生活を送りました。

その後、県職員になってからも職員大会などで陸上を楽しむとともに、副知事時代は愛知県教育委員会を担当していた関係から、愛知陸上競技協会の皆様とも親しく仕事をさせていただきました。今回、そのご縁もあり、会長職という大変名誉ある仕事をさせていただくこととなりました。

私は常々、陸上はスポーツの原点であり、練習を通じて、スポーツの楽しさと同時に厳しさが実感でき、人間形成を図るうえで大変すばらしいスポーツであると考えております。また、多くの仲間を得ることができるスポーツでもあります。愛知陸上競技協会の会員の皆様一人ひとりが、この陸上のすばらしさを多くの県民、市民の方々にPRしていただき、お子様からお年寄りまで県民すべての皆様が、健康で心豊かな生活が送れるよう努力してまいりたいと考えております。

今後とも、よろしくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

祝 金メダル / 学生陣大活躍

(写真提供：中日新聞社)

7月7日ロシア、カザンで開催されたユニバーシアード夏季大会において、鈴木亜由子選手(豊城中→時習館高→名大4年)がみごと10,000mを32.54.17で優勝。日本へ第一号の金メダルをもたらしました。また、11日の5,000mでも15.51.47で銅メダルを獲得しました。

さらに、山本聖途選手(岩津中→岡崎城西高→中京大4年)は棒高跳びを5m60で銀メダル。庄司麻衣選手(水無瀬中→岡崎学園高→中京大2年)は10,000m、5,000mともに4位に入賞しました。

それぞれ大変おめでとうございました。



凱旋帰国した鈴木選手

祝 世界選手権出場

8月10～18日にモスクワで行なわれる第14回世界陸上競技選手権大会へ、愛知から次の3選手が出場します。室伏広治選手(ハンマー投:ミズノ)、山本聖途選手(棒高跳び:中京大4年)、中野弘幸選手(4×400mR:愛知陸協-安城中部小)

愛知の代表として大いに活躍してほしいものです。



愛知陸協から中野選手への激励金贈呈

平成25・26年度一般財団法人愛知陸上競技協会役員

会 長	稲垣 隆 司		
副 会 長	村瀬 雄一郎	室伏 重 信	
専務理事	稲垣 裕		
常務理事	岡田 武彦	清水 康朗	外山 幸男
理 事	水野 隆夫 北村 肇 伊藤 明久 櫻井 一美 佐野 昭二	榎原 茂 新見 精三 砂子間 英明 石井 哲郎	小森 好治 石田 美知枝 小島 末広 久米 裕朗
監 事	青木 実 飯田 日出男 兵藤 重二 本 田 陽		
評 議 員	萬谷 康幸	若松 良一	
	小椋 征弘 竹内 信雄 加藤 高行 國分 一郎	青山 充資 竹内 伸也 夏目 輝久 伊藤 晃	杉山 裕二 柴田 和秀 仲井 雅弘 大坪 勝則
			坂井田 醇三 山内 満 鈴木 政男

平成25・26年度一般財団法人愛知陸上競技協会名誉役員

名誉副会長	國分 一郎		
顧 問	翠 忠明	竹内 伸也	
参 与	越原 一郎 高田 輝男	近藤 卓夫 牧田 功	太田 哲郎 竹内 信雄
			鶴田 政之 山内 満

専門委員会報告

総務委員会

本年度より総務委員長となりました。どうぞよろしくお願ひします。さて、今年度の活動方針です。

- ・前任者との引継ぎをしっかり行ない、陸協事務局および、陸協全体の円滑な運営を図る。
- ・全日中、ジュニア・ユース、ウィメンズマラソンを始めとする諸大会を開催するにあたり、それらを円滑に運営できるように進める。
- ・陸協事務局および、他の委員会との連携を深める。また、経費の面での節約方法を模索する。

今年度は、全日本中学校陸上選手権大会が愛知で開催され、地元の選手を始め、全国から多くの中学生が集います。熱戦を繰り広げる中、好記録の誕生を期待します。また、全日本ジュニア・ユース、マラソンフェスティバルも行なわれ、他の大会も併せ、活気のある1年になりそうです。陸協の審判員の皆様にも多大なるご協力をお願いします。

最後に、5・6月に理事会・評議員会が行なわれ、平成24年度の活動報告・決算報告、平成25年度の活動計画・予算が承認されたことを付け加えさせていただきます。

(水野 隆夫)

競技・情報処理委員会

昨年度末、全国競技運営責任者会議において、スタートに関することが詳しく報告されました。

2013年度の愛知陸上競技協会主催の競技会は下記のように行います。

スタートに関する注意事項

- ①競技規則162条6・7により、不正スタートした競技者は、1回目で失格とする。
- ②スタートの合図は英語とする。
(「On Your Marks」, 「Set」)

上記の①②を適用しない競技会は、『要覧』掲載の大会要項、もしくは愛知陸協HPに掲載する各競技会の大会要項にその旨を記載します。

※警告という項目が入り、スタートの定義が示されました。詳しくは、3月に行われた伝達講習会の資料及び陸連のホームページで確認してください。

各地区陸協主催の大会においても以上のことに留意して運営をお願いします。(榎原 茂)

施設・用器具委員会

I 瑞穂陸上競技場の整備についての現状

2012年12月理事会後に、愛知陸協から、名古屋市に瑞穂陸上競技場の「クラス2」認証をとることの「要望書」を提出しました。その後、名古屋市スポーツ振興課と打合せを数回持ちました。また、6月7日に「クラス2」認証の味の素スタジアム(日本選手権開催中)を視察して、日本陸連施設用器具委員長の指導も受け情報を収集し、関係者と細かい詰めをしています。

2014年3月検定に向けて、今後の大きな課題 ①予算の配分 ②入札 ③工事期間 等をクリアせねばなりません。財政厳しい中、整備の予算取りには、行政サイドでは「日本選手権レベルの開催」が必要となります。名古屋市体育協会の会議でも、国際大会誘致の要望が出ています。各方面でのご協力をお願いします。

*国際大会開催には、IAAF認証は必須であること。

クラブ紹介② 蒲郡クラブ

蒲郡クラブは、蒲郡陸上競技協会に關係する審判・選手すべての総称として使われています。陸上教室に通う小学生からシニアまでの一般アスリートが所属し、それぞれの立場で競技を通じて自己研鑽と仲間との交流を深めています。その中でも小学生を中心とした陸上教室の蒲郡クラブを紹介します。

陸上教室は、蒲郡市内はもとより隣接する西尾市幡豆町や幸田町、岡崎市から小学生が毎年300名近く参加しています。また、市内外の



教室低学年ウォーミングアップ(流し)

中学校に陸上部がない関係から、走り続けたい中学生の受け入れも行なっています。

教室では3本の柱として、①体力の向上をしよう ②あいさつをしっかりとしよう ③競技会に積極的に参加しようを掲げています。過度な練習はせずに「楽しく走ること、走ることが好きになること」を念頭に、子どもたちとコーチ陣が笑顔で集っています。しかし、全体の和を乱したり怪我に繋がる危険を察知したりした場合には、厳しく叱責することもあります。

一昨年の全国小学生リレー交流大会に引率して刺激を受けた関係で、昨年から選手コースを併設しました。選手に

は年間12回の競技会に、より積極的に参加するように勧めています。「小学生が瑞穂陸上競技場で走れる」なんて凄いことですから・・・おかげでリレーチームが充実してきています。



教室高学年リレー練習

練習は、ほぼ毎週蒲郡市公園グラウンドで2時間ほど学年別に行なっています。走ることも子どもも大好きな指導者がボランティアで指導しています。季節ごとにタイムトライアルで記録にチャレンジしたり、野外走などを取り入れたりしてメリハリを付けています。

昨年は松下空くんが1500mで県の小学生最高記録を出しました。過去にも全国小学生リレー交流大会走高跳での3位入賞を筆頭に全国クロスカントリーリレー交流大会18位、リレーでの東海大会出場や県大会個人種目での優勝や入賞など、成績を残しています。また、教室OBでは、都道府県対抗駅伝2区3区で飯島康介君と三田裕介君が2年連続で好走し、タスキリレーしたことは皆さんの記憶にも新しいことと思います。

現状の最大の悩みは、指導者不足です。記録や成績だけではなく、楽しく走り楽しく交流が図れることを重点に、今後も指導を続けていきたいと考えています。「蒲郡クラブ」に応援をよろしくお願いします。(手嶋 修次)

II 4月からの検定状況の報告

①半田運動公園陸上競技場の一部改造の検定

5月21日(火)に青木検定員と平川技術役員が実施しました。申請者と業者の打合せ不十分で準備が悪く、検定開始に時間がかかりました。

*申請者の改造に対する認識不足の事例

②至学館大学陸上競技場の第4種継続公認検定

平日7月31日(水)に青木検定員と平川・桑原技術役員が実施の予定です。

*申請者の継続公認申請遅れの事例

III 名古屋ウィメンズマラソンコースの一部変更について

次の6カ所の変更のため、全コースの自転車計測が必要になり、検定日については、自転車計測員・交通量・ドームの空き状況等の調整後、決定します。①スタート位置②堀田折り返し付近 ③若宮大通久屋交差点付近 ④市役所付近 ⑤環状線瑞穂通り2丁目 ⑥ドーム内また、計測後の1kごとのポイント、給水ポイント等の変更 白川公園へのハーフコース、瑞穂陸上競技場への10kコースの変更が多くなり、作業時間が増加して、多くの人の参加が必要になりますので、ご協力をお願いします。

(青木 実)

審判委員会

平成25年度も競技会が始まり、全国大会への予選会も、県大会、東海大会へと進んでいる最中です。審判員の方々には競技会の審判業務にご協力いただき感謝しています。

平成25年度には全国大会として8月の全日本中学校陸

上選手権大会、10月の日本ジュニア・ユース陸上選手権大会、3月のマラソンフェスティバルがあります。どの大会も全国各地からの参加となり、愛知陸協も全力を挙げて本番に備え、日頃の競技会から全国大会を意識した審判業務の心がけをしていかななくてはなりません。

とくに8月の全日本中学校陸上選手権大会は中学校の先生方が中心となり競技会を運営、進行していくこととなります。そのためには積極的に競技会に参加、研修をしていただき、審判技術の向上に努めてほしいと思います。

さて日本では高齢化が叫ばれることが多くなりましたが、同じく審判員の方々も高齢化が進んでいます。昨年開催された岐阜国体においても、60歳を越された審判員の方が多く協力されて、競技会を成功へと導き、なくてはならない存在でした。愛知陸協も年配の審判員の方々の協力を得て、競技会が成り立っている大会が多くあります。今後は若手の審判員の育成が課題になってきています。11月23日に第2回B級公認審判員取得講習会を行ないます(詳細は陸協ホームページにて)。以前よりお願いしておりますが、同僚、教え子等にお声を掛けていただければ幸いです。

最後に全国大会がよりよい競技会になるためにも、審判技術の向上とともに、審判の服装等にも配慮をお願いします。(小森 好治)

選手強化委員会

2013年度の選手強化委員会行事は表の通り派遣行事、競技会、強化行事(合宿・練習会)、教室、指導者養成の5つの部門を予定しています。本年度の東京国体種目は昨

年の岐阜国体と同一種目で実施されます。次の和歌山、長崎国体では種目変更が予定されています。

2013年度 強化委員会行事

<派遣行事>

行事名	期間	派遣日程	場所
国民体育大会	10月4日(金)～8日(火)	10月2日(水)～8日(火)	6泊7日 東京都
ジュニアオリンピック	10月25日(金)～27日(日)	10月25日(金)～27日(日)	2泊3日 神奈川県
都道府県女子駅伝	平成26年1月12日(日)	1月9日(木)～12日(日)	3泊4日 京都府
都道府県男子駅伝	平成26年1月19日(日)	1月17日(金)～20日(月)	3泊4日 広島県

<競技会>

競技会名	期日	場所
国体選考・強化普及競技会	4月13日(土)・14日(日)	瑞穂
国体選考春季選抜競技会	4月21日(日)	瑞穂
第1回駅伝強化長距離競技会	6月29日(土)	瑞穂北
駅伝強化豊川長距離競技会	9月22日(日)	豊川
愛知ジャンプ競技会	10月12日(土)	知多
第2回駅伝強化長距離競技会	10月12日(土)	知多
投てき競技会	11月9日(土)	瑞穂北
第3回駅伝強化長距離競技会	11月9日(土)	瑞穂北
競歩競技会	平成26年3月1日(土)	瑞穂北

<強化行事・合宿・練習会>

行事名	期間	場所	備考
国体選手合宿①	8月26日(月)・27日(火)	1泊2日 一宮	国体代表選手
国体選手練習会	9月15日(日)	1日 瑞穂	国体代表選手
国体選手合宿②	9月21日(土)・22日(日)	1泊2日 一宮	国体代表選手
夏駅伝合宿	8月25日(日)～27日(火)	2泊3日 富士見	中・長距離
スーパーレディース駅伝	11月9日(土)・10日(日)	1泊2日 福井	選抜選手
都道府県駅伝合宿①	12月25日(水)～28日(土)	3泊4日 蒲郡	都道府県駅伝代表選手
都道府県駅伝合宿②	平成26年1月4日(土)・5日(日)	1泊2日 瑞穂北	都道府県駅伝代表選手
国体強化指定選手練習会①	12月21日(土)・22日(日)	1泊2日 知多	投擲
同②	12月23日(月)～25日(水)	2泊3日 内海半田	短・中・跳・障・歩
同③	12月25日(水)～28日(土)	3泊4日 蒲郡	長距離
同④	平成26年1月18日(土)	1日 瑞穂	短・中・跳・障・歩
同⑤	1月18日(土)	1日 知多	投擲
同⑥	2月2日(日)	1日 中京大	投擲

同⑦	2月8日(土)	1日 瑞穂	短・中・跳・障・歩
同⑧	2月15日(土)	1日 知多	投擲
同⑨	3月2日(日)	1日 知多	短・中・跳・障・歩・投
全日中練習会	8月12日(月)	1日 瑞穂	全日中出場者の練習
国体選手リレー練習会	8月下旬・9月中旬	2回 瑞穂北等	国体選手のリレー練習
ジュニアオリンピック練習会	9月・10月	4回 瑞穂北等	ジュニアオリンピックのリレー練習

<教室関係>

行事名	期間	場所	備考
競歩教室	4月から各月の第1土曜に開催	9回 瑞穂	12・1・2月は除く

<指導者養成>

○JAAF コーチ推薦者(2名)(日体協公認コーチ)

氏名 高橋直之 所属 千種高校

氏名 児玉征久 所属 愛知工業高校

○医事部トレーナー研修合宿

8月下旬 3泊4日 日間賀島

(北村 肇)

記録委員会

2013(第2回)名古屋ウィメンズマラソンで優勝した木崎良子(ダイハツ)、3位の野口みずき(シスメックス)の2名が8月の第14回世界選手権大会(モスクワ)代表に決定し、名古屋国際女子マラソンの時代を含めて6大会連続で名古屋から選ばれました。また記録として今年も14,554人の競技者がスタートし、ギネス世界記録更新が認定されました。

3月までの道路競技からトラック&フィールドのシーズンに入り、4月からは各地区陸協の記録会、県高校総体支部予選会と既に20数競技会が開催されました。記録担当者の方々には公務多忙の傍ら記録の整理、報告にご尽力いただき、おかげで順調に日本陸連への記録公認申請の手続きに入っています。昨年からの試験的に一部の競技会について電子データによる公認申請を行ってきましたが、今年からは正式に導入されました。全ての競技会が該当することではありませんが、既に12の競技会を電子データで申請しました。今後は県内の約3分の1強の競技会について導入できるのではないかと考えています。各地区の記録担当者の方々にはご負担をおかけしますが、ご協力よろしくお願いします。

毎年のごとくですが、近年、県外の競技会への出場が多くなっています。県外出場認知書の発行を受けて出場していると思いますが、必ず結果を報告してください。この結果報告に基づきHP等で確認し、記録のチェックをしています。

◎6月までに更新された愛知県新・タイ・最高記録等

(2013.6.30 現在)

愛知県新記録

男子

400m 45.62 中野 弘幸(愛知陸協)

- [第29回静岡国際陸上競技大会(小笠山) 5/3]
30Km 1.29.51 宮脇 千博(トヨタ自動車)
- [第57回熊日30Kmロードレース(熊本) 2/17]
棒高跳 5.74 山本 聖途(中京大) 日本学生新記録
- [第79回東海学生対校選手権大会(瑞穂) 5/18]
5.75 山本 聖途(中京大) 日本学生新記録
- [2013日本学生個人選手権大会(平塚) 6/23]
5.71 山本 聖途(中京大) 室内日本新記録
- [2013日本Jr室内選抜OP(大阪城ホール) 2/24]

女子

- 5KmW 22.34 前川 知美(三菱自動車岡崎)
[全日本競歩10KmW(途中)(輪島) 4/20]
- 10KmW 47.03 前川 知美(三菱自動車岡崎)
[第96回日本選手権20KmW(途中)(六甲) 2/17]
- 10KmW 45.54 前川 知美(三菱自動車岡崎)
[全日本競歩(輪島) 4/20]

愛知高校新記録

- 1500m 4.20.4 鷺見 梓沙(豊川高)
[第60回東海高等学校総合体育大会(伊勢) 6/21]
- 棒高跳 3.50 佐藤 愛(中京大中京高)
[第81回大阪府選手権大会(長居) 6/30]

愛知高校タイ記録

- 100m 11.81 杉山 美貴(中京大中京高)
[第60回東海高等学校総合体育大会(伊勢) 6/22]
(岡田 武彦)

女性委員会

女性委員会は、委員長及び副委員長が交替し、新委員を迎え新体制でスタートしました。これまでの成果を活かしながら、新たな課題にも取り組んでいきます。委員は各地区から選出し、各委員会にも女性委員を配置するなど、様々な面から女性の活動を把握することにより、女性アスリートの育成及び女性審判員の増員ができるように活動していきます。

7月6・7日に開催された愛知レディース陸上競技大会は、今大会で第10回を迎えることができました。これまで参加していただいた多くの女性アスリートの皆様と大会運営にお力をいただいた愛知陸上競技協会の皆様に、心から感謝申し上げます。そして、第2回大会より優勝者に花束を贈ってくださっている「Milky Way」様、レディース大会にふさわしい花の贈り物ありがとうございます。第10回を記念し大会プログラムに、愛知を代表する女性アスリートで走高跳日本記録保持者の今井美希さん、円盤投・ハンマー投

日本記録保持者の室伏由佳さん、七種競技日本記録保持者の中田有紀さん、4×100mRの日本記録保持者の市川華菜さんより大会に贈られたメッセージ



杉浦プレゼンターによる表彰

を掲載しました。また、今大会のスペシャルプレゼンターは、4×400mRジュニア日本記録保持者の杉浦(旧姓:天野)恵子さんをお招きし、大会当日は表彰式で会場を盛り上げていただきました。愛知の女性アスリートたちが、この大会を通じてステップアップし、大きく羽ばたいてくれることを期待します。そして、女性審判員の増員にも貢献できるように、この大会を今後も続けていきたいと思います。(谷崎 好美)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

がんばれ全国大会(名古屋地区からの選手)

全中が瑞穂公園陸上競技場で開催され、暑い名古屋が、若いエネルギーで、ますます暑くなります。全国各地から来る選手に「名古屋での試合はよかった」と心に残る大会づくりを、今からみんなで心がけていきましょう。

今後も名古屋地区の各カテゴリーでの活躍が大いに期待されます。みんなで応援しましょう。

①全国小学生交流会には、男子6名、女子4名の10種目(全県14種目)参加します。

- 男子 6年100m:大崎雅人(TSM)
5年100m:鈴木大河(TSM)
80mH:中村洋介(成岩SC陸上)
走高跳:大澤祐斗(TSM)
走幅跳:神谷翔矢(なごや陸上クラブ)
ボール投:豊嶋駿介(辻クラブ)

- 女子 6年100m:中山愛理(東浦AC)
80mH:落合風琉(TSM)
走高跳:青木琴子(TSM)
走幅跳:三輪未来(なごや陸上クラブ)

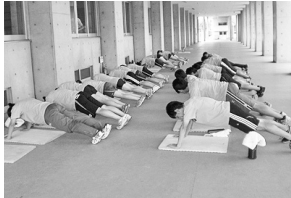
②大分全国高校総体には、延べ男子26名女子28名(全県で男子は延べ41名女子延べ49名)参加します。

- 男子 100m:近藤 晃(愛工大名電)
200m:井上脩吾(栄徳)
800m:永山周輝(千種) 近藤優輝(至学館)
櫻川皓市(瑞陵)
110mH:矢野智大(中京大中京)
山本健太(阿久比)
3000SC:竹内大地(中京大中京)
5000mW:及川文隆(愛知) 大本康平(明和)
400mR:渡邊・村瀬・遠藤・寺島(中京大中京)、
津坂・近藤・田口・池田(愛工大名電)
1600mR:中野・金森・古元・掛川(名古屋)
走高跳:景山耀右(至学館)
走幅跳:渡邊圭一郎(中京大中京)
三段跳:奥谷卓音(東海) 横地秀春(中京大中京)
円盤投・ハンマー投:松本裕貴(名古屋)
やり投:大久保直輝(名古屋)
八種:平林卓磨(名城大附)、
矢野智大(中京大中京)
- 女子 100m:杉山美貴(中京大中京)、
丹羽愛利彩(愛工大名電)

学校訪問⑳ 名城大附属高校 祝 世界ユース選手権出場

今回は、東海総体の女子やり投で2位に入り、世界ユース選手権代表に選ばれた森凧紗さんが所属する名城大附属高校を訪ねました。名城大附属高校は他にも平林卓磨君が男子八種競技で東海総体2位に入賞しており、共に全国総体での活躍が期待されます。

学校を訪問してまず目を引いたのが、校舎の入り口のガラス扉に掲示されていたインターハイ出場者を知らせる文字でした。陸上部の2人はもちろんその中に含まれていましたが、他にも東海総体ではウエイトリフティング部(85kg級優勝、77kg級準優勝、56kg級3位)、体操部(男子団体3位、個人総合4位、種目別鉄棒優勝)、軟式野球部(Aゾーン準優勝)が入賞を果たしています。全国総体とは別枠ですが、ダンス部が全国高校ミスダンスドリルチーム選手権大会に、チアリーディング部がJAPAN CUP チアリーディング選手権大会に出場します。これらは、学校全体として部活動が盛んに行なわれていることを物語るものとも言えましょう。こうした活気の中で、陸上部員も日々トレーニングに励んでいるのです。学校全体の勢いが、陸上部の活躍を押し上げているのではないかと感じました。実際に顧問の谷政人先生と校内を見て回りましたが、どの部も活気あふれる練習ぶりでした。



ピロティでの基礎体力作り

さて、陸上部自体の報告に移りましょう。まずは、練習環境です。どこの学校でも雨の日の練習には頭を悩ましていると思いますが、名城大附属高校には雨の日にも十分トレーニングが積める素晴らしい場所が存在しています。それは、3階建ての体育館から張り出したひさしの下にピロティと呼ばれる長さ60m、幅7mほどのスペースです。ここは、雨の日にはもちろん威力を発揮するのですが、通常の練習の際にも補強運動、補助運動の練習スペースとして活用されています。また、ピロティと接する形で300mほどの周回コースがあり、非常に効率よく練習を行なうことができているように思われました。訪問した日は走り込みの日で、歩いて10分ほどのところにある河川敷の366mのトラックで練習が行なわれていました。まだ他に、名城大附属というだけあって、休日には名城大学との合同練習という形で名城大学の全天候型の400mトラックを使って練習することもあるそうです。



河川敷のグラウンド



ピロティに接した周回コース

次に、練習内容の特徴を一つ挙げておきます。多くの学校が本練習の後で補強運動を行なっていると思いますが、名城大附属高校では練習の最初に基礎体力を向上させるためのトレーニングを1時間ほどの時間を費やして行なっています。谷先生は、ドリル一本練習一補強運動が一般的なやり方でしょうが、本練習が終わって疲れたなかで補強運動を行なっても十分なことができませんとおっしゃっていました。そして、急激にスピードを上げて練習するのは違って、ケガや故障を防ぐ効果もあるのではないかとおっしゃっていました。基礎体力の向上を重視したトレーニングが、部全体の力を押し上げているのではないのでしょうか。

三つめに、練習の際の服装を挙げておきます。試合の会場へ部で揃えたTシャツを着て出掛けるのは多くの学校で見受けられることですが、名城大附属高校では練習の際にも全員とっていいほどの部員が「名城大附属」の文字がプリントされたTシャツを着ていました。部員に尋ねてみると、お揃いのTシャツは何枚かあるのだそうですが、訪問した日以外にも多くの日が「名城大附属」の文字を見ながらの練習になっているとのことでした。このことが部員の気持ちの一つにしているのではないかと考えて谷先生にお尋ねしてみると、外の会場へ練習に行く時にはこちらが何も言わなくても同じ色のTシャツで合わせてきますよとのことでした。そして、Tシャツは部員の気持ちの一つにする効果を持っているとお話ししてくださいました。



お揃いのTシャツ姿

四つめには、顧問の先生について触れておかなければなりません。今まで私立の強豪校を何校か訪問しましたが、どの学校も複数の顧問の先生方が専門性を生かして指導をしていらっしゃいました。部全体の人数が多くても、パートに別れば少人数となり、顧問の先生の目が行き届くという学校ばかりでした。しかし、名城大附属高校は子育てと仕事の二足のわらじの小川(旧姓舟木)香織先生を含めても実際の指導に当たっておられる先生は、2名。現在は、谷先生お一人です。お一人で60名の部員を指導するのは大変なことだと思うのですが、そこは1993年のアジア大会で十種競技の日本代表となられただけあってどの種目にも指導が行き渡っているように見受けられました。それに、お人柄なのでしょう。部員との距離が非常に近いように感じられました。谷先生の指示をあおぐ部員の表情は皆おだやかで、和やかな雰囲気の中で指導が行われていました。走り込みの日ということもあって選手は追い込んだ練習をしていましたが、休憩の取り方の指示などは一人ひとりの状態に合わせてなされており、谷先生の生徒一人ひとりを見る目も強く印象に残りました。部員と顧問の間に厚い信頼関係があってこそ、高いパフォーマンスも生まれるというものです。

この記事が皆様のお手元に届く頃には世界ユース選手権・全国高校総体の結果が出ていますが、それが愛知の力を示すものであることを願ってやみません。そして名城大附属高校が高校の枠を越えて、今後とも愛知の陸上競技に貢献することを期待しております。小川先生との二人三脚で、更に高い成績を残すことができることでしょ。

(取材・文責 大西敏功)

200m：野村真由（至学館）
 400m：北野有紀（淑徳）山田晴帆（千種）
 800m：森田琴乃（千種）
 1500m、3000m：中根千明（中京大中京）
 400mH：北野有紀（淑徳）谷 実咲（長久手）
 鈴木 萌（日進西）
 5000mW：杉本梨保（至学館）
 1600mR：柴川・宮脇・竹内・野村（至学館）
 宮下・梶浦・伊藤・萩野（愛知）
 走高跳：松井紗希（中京大中京）
 走幅跳：山内菜有理（千種）
 円盤投：能澤照美（名古屋大谷）
 やり投：森 風沙（名城大附）
 七種：貫井 茜（明和）遠山実希（中京大中京）

③ねんりんピック高知大会は10月下旬開催、男子5名女子1名の名古屋市選手団。

10K：河原義高、日江井雅子
 5K：青山 幹、風岡邦昭
 3K：寺田英之、三尾克美

④全日本中学校陸上競技選手権大会で活躍が期待できる名古屋地区の有望選手（6/6現在の全国ランキング20位以内）

走高跳、四種競技：榊原至佳子（成岩中3年、成岩SC）
 棒高跳：松永乃樹（御幸山中3年）100m：谷元見優（高針台中3年、なごや陸上クラブ）
 100m、200m：掛川 栞（豊明栄中3年）
 走高跳：服田昌浩（有松中3年）
 100mH：鈴木瑞希（扇台中3年）
 四種競技：加納礼菜（香流中3年）
 出場者は7月下旬の県総体で決定。

〈主催共催事業の練習会日程〉

ふれあい陸上教室
 5/5・12 6/23 7/14・27 8/3・11 9/1・21 11/3
 ねんりんピック選手練習会
 6/23 7/6 8/3 9/8 10/14

（青木 実）

尾張陸上競技協会

本年の尾張陸上競技協会は、一部役員の変更でスタート致しました。新体制として、会長に小椋征弘、新任の理事長に小島末広、副理事長に岡田武彦、杉山裕二、青山充資に加え新任として野口一昭が就任しました。

シーズンも4ヵ月を過ぎ、この間の大会において多くの好記録が誕生し成績面でも好スタートを切ることができました。特に全国高等学校総合体育大会へは、尾張地区から6名の選手の出場が決定致しました。

本年も、新体制のもとで競技者の皆様が陸上競技に取り組み活動を通じて人間関係を深め、より高いレベルの成果を勝ち取ってもらえるよう各関係者と連携を密に取り、この1年間頑張ってください。関係者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

主な活動方針

1. 専門委員長会議「各専門委員長、専門副委員長」を定期的に開催してその時々々の旬の話題を話し合い、活動の活性化を図る。
2. 各専門委員会ではこの1年間の活動方針を決め、日頃の競技会準備、運営等で皆様のご努力で一步一步前進させる。
3. 今シーズン終了後に「県営一宮陸上競技場」が公認更新のために改修工事が実施される。その間の対応策として、陸上教室を知多陸上競技場に変更しての実施と尾張駅伝競走大会は、コースを一部変更し県営競技場周辺で実施する。

（小島 末広）

西三河陸上競技協会

今年度も昨年までと同一の役員体制でスタートしました。

さて、ロンドンオリンピックの余韻が冷めやらぬシーズン開幕早々、吉報が飛び込んできました。まず、第14回世界陸上競技選手権大会（2013.8.10～18 ロシア・モスクワ）に山本聖途選手（岡崎城西高→中京大）の棒高跳での出場が決定しました。そして、第8回世界ユース陸上競技選手権大会（2013.7.10～14 ウクライナ・ドネツク）に大久保直也選手（安城学園高）の400mHでの出場が決定しました。さらに山本選手については、第6回東アジア競技大会（2013.10.6～15 中国・天津）への出場も決定しました。また、ロンドンオリンピックに出場した中村明彦選手（混成）と市川華菜選手（短距離）は卒業と共に当地区を去られました。山本聖途選手と共に岡崎城西高のオリンピック出場の3人組、そろって第6回東アジア競技大会への出場が決定という知らせでした。

吉報と共に好スタートを切った当協会の本年度の目標の一つに、昨年からの課題であったメールを利用した大会申込みへの変更があります。昨年の最後の大会において、試験的に電子データによる大会の申込み、プログラム編成、記録の集計に至るまでの一連の動きをテストしてみました。

それを受け、本年度は一般・高校の参加者を対象とした大会を基本にこの方法で実施することとしました。まだ、スタートしたばかりであり、ペーパー申込みと同様の手間がかかっているのが現状です。しかし、実際に実施していく中においていくつかの改善策も出てきており、より良い方向へ進んでいくものと確信しています。現時点においては、プログラム印刷の経費削減、プログラム編成の少人数化等の利点も出てきました。一方、一部の担当者への負担増といった問題も出てきています。それらの点を関係者一丸となって改善して、より良い方法を確立していきたいと思っています。

（櫻井 一美）

東三河陸上競技協会

全日本中学校陸上競技選手権大会が8月20日～22日の3日間にわたって瑞穂陸上競技場で開催されます。東三河地区では3年前より、中学校の顧問の先生方と一般指導者とのコラボレーションにより強化を図ってまいりました。その結果、東三河地区の中学生の強化が実りつつありま

す。県大会などで多くの生徒の皆さんが全国標準記録を突破し、全国大会でも活躍されることを期待します。

豊川市に待望久しい全天候型陸上競技場（第3種公認競技場）が、昨年完成いたしました。県内の高・大・一般の団体の皆様が、練習や合宿等で積極的に利用していただければ幸いです。

【平成25年度主な目標】

- 豊橋競技場正面スタンド建設を始めとする、諸施設の建設・改修の早期実現。
豊橋市教育委員会への更に強力な働きかけ。（25年度予算に調査費計上なる）
- 会員の東三河陸上競技協会への関心を高める工夫を検討。（総会開催・大会運営・強化策等）
- 小・中・高・一般の計画している強化事業への人的・経済的支援。
- ホームページによる大会申込みの簡略化・大会結果の早期のアップや積極的広報活動。
- 平成23年度4月より、全日中（平成25年8月下旬愛知開催）大会に向けて発足した全日中プロジェクトの更なる強化策支援。
- 研究会・講習会・全国大会への積極的な参加による、指導者及び会員の資質向上。

（夏目 輝久）

関係団体報告

小学生友の会

6月22日（土）に瑞穂公園陸上競技場にて「第29回全国小学生陸上競技交流大会愛知県予選会」が開かれました。この大会の5・6年生種目で優勝した選手（6年女子100Mは3位の選手）が愛知県代表として8月24日（土）に横浜の日産スタジアムで開かれる「第29回全国陸上競技交流大会」に出場します。



この全国小学生陸上競技交流大会の大会PRポスターが先日配布されましたが、このポスターの中心には昨年この大会に女子80MHで愛知県代表として出場した蜷川真未選手（成岩SC陸上）が載っています。今後県内の競技場にも掲示されることが予定されていますので、ご覧ください。

（石田 伸）

中小体連

成功させよう愛知全中

6月21日（金）、22日（土）に（公財）日本中学校体育連盟陸上競技部全国委員長会議をキャッスルプラザ（会議）、瑞穂公園陸上競技場（会場視察）にて行ないました。日本陸連関係者、各県中体連専門委員長を迎え、愛知全中の運営、今後の全中参加方法等について活発に意見を交わしました。



愛知陸協挨拶（稲垣専務理事）



全国委員長会議

いよいよ愛知全中の開催が目の前に迫ってまいりました。競技役員約350名、協力役員約150名、生徒役員約440名体制で全国の皆様をお迎えします。愛知陸上競技協会、県中学校体育連盟ならびに本大会の運営に携わる全ての方々の気持ちと力の一つに結集させ、本大会を成功させたいと強く願っております。本大会を迎えるにあたって「おもてなしの心」、「アスリートファースト」の二つを念頭に取り組む所存です。「おもてなしの心」をもって全国の皆様を出迎え、愛知に来て本当に良い思い出ができた、瑞穂で競技できて良かったと感じていただけるように、運営側としてあらゆることに配慮して取り組んでいけたらと考えております。また、「アスリートファースト」の精神を全面に、選手のことを最優先に考えた競技運営をめざしていけたらと考えております。この二つのことを進めるにあたって、多くの方々に無理難題をお願いすることになると思いますが、愛知全中を成功させるために必要な事として御理解と、御協力を賜りたいと思います。よろしくお申し上げます。



（久米 裕朗）

高体連

本年度から高体連専門委員長になりました。精一杯努力をさせていただきます。地元名古屋で開催されました、昭和58年度総体からちょうど30年目を迎えます。その年度に委員長になりましたのも、何かの縁と思い努力させていただき所存です。よろしくお願いいたします。

高校総体は本年度北九州地区の担当で、陸上競技は7月30日から8月3日の日程で、大分県で開催されます。高校生の全国への道のりは、愛知県内6支部での予選会から始まり、6月20日から三重県で行われました東海大会において、総勢117名の選手諸君が全国への切符を手に入れました。本年度の東海地区は静岡県の短距離のレベルが高く心配していましたが、本県選手も積極的な走りを見せ大変よく頑張ってくれました。また、近年女子の投擲種目が低調でありましたが、円盤投の3名を筆頭に、全種目で全国大会への出場権を確保することができました。一方で男子の砲丸投では、出場権を得ることができず課題も残りました。強化委員会をはじめとし、選手発掘にご尽力をいただいておりますが、高体連としても各校顧問と連携を取りながら努力をしていかなければならないと思っています。

大分大会では、高校生諸君が持っている力を十分に発揮し、実りある全国総体になるように裏方として支え、良い結果報告ができるように頑張っています。

また、本年度は東海高校新人大会が10月26・27日に愛知県開催となります。大会準備や競技役員等で大変お世話になることと思いますが、何とぞ協力を賜りますようお願いいたします。(石井 哲郎)

高体連定交通部

新しいシーズンを迎えて



県定通総体開会式

例年より早い梅雨入りが宣言されましたが、全国大会出場選手選考会(県定通総体)は好天に恵まれ、多くの審判・役員・補助員の協力を得て、知多運動公園陸上競技場で開催することができました。開催日が土曜日になり、夜間定時制が前日の遅い時間まで授業がある事などを考慮し、いつもの開催時間より遅らせての大会となりました。

全国大会へのキップを手にするためには、決勝で3位までに入賞し、参加標準記録を超えなければなりません。選手たちの熱戦が繰り広げられた結果、男子では、刈谷東(夜)の日高丈貴が400mで好記録を出し、200mと合わせて2種目で1位となりました。3回目の全国出場ですが、4×100mRの選抜メンバーとしても活躍が期待されています。大府(夜)の光武悠吾は走幅跳と三段跳で1位、記録的にも全国での上位入賞が期待されます。男子は科技高刈谷(昼)が8種目で1位となりましたが、2~3位を豊橋(昼)が取る等、総合優勝は接戦となりました。結果はリレー2種目を制した科技高刈谷(昼)が13回目の優勝を飾りました。

女子は、昨年の全国大会優勝者の豊橋(昼)の山口浩美が順調に記録を伸ばしてきて、大会新記録の1m54を跳び1位となりました。全国大会2連覇と周りの期待も大きくなっています。円盤投では激しい上位争いになるとの前評判通りとなりましたが、全国大会出場経験者を退け、1位になったのは小牧の池田なぎさでした。全国では愛知の3人の活躍が楽しみになってきました。総合優勝は、選手層の厚い豊橋(昼)が圧勝で、9回目の優勝を飾りました。

定時制通信制部は春の県総体(全国大会出場選手選考会)と秋の秋季大会、そして最大の目標である夏の全国大会が1年間の大会スケジュールです。県総体が終わり、全国大会へは13校、男子19名、女子18名が出場することになりました。(松橋 政人)

愛知陸協 OB・OG 会

設立15年目を迎えるOB・OG会も順調に会員数が増加し、今や150名を越えるほどになりました。これも会員の皆様や各地区世話人各位のご理解ご協力の賜と感謝しています。

今年も、7月20日愛知選手権1日目の競技終了後、総会と懇親会を開催しました。今年は寿杯(数え年)の記念品を、米寿1名、傘寿5名、喜寿5名の方々に贈呈いたしました。また、新会員4名には会員バッジの贈呈をし、仲間入りをしていただきました。

毎年、競技会の大会役員として多くの会員が参加し、大会運営に大いに貢献しています。また、秋の日帰り旅行、一泊の新年懇親会の行事を行なって会員相互の親睦を深めています。

会員各自が健康に留意し、陸上競技の仲間として末永く交流できる会としてのこの会に、60歳以上(OG会は55歳以上)の方のご入会をお待ちしています。詳しくは各地区世話人にお尋ねください。(村瀬 雄一郎)

マスターズ陸上

心豊かな長寿社会への貢献役 マスターズ陸上

平成25年度も早いもので第1四半期も終わりました。愛知マスターズ連盟にとって今年が一番大きな行事は、第12回東海マスターズ陸上競技選手権大会の開催でした。東海マスターズ選手権大会は、東海5県が輪番で当番県となり実施しています。

愛知はこれまでの過去2回を瑞穂陸上競技場で開催していましたが、3回目の開催となる今回は、5月18日(土)にウェーブスタジアム刈谷で開催しました。

参加者も第6回静岡での過去最高と同じ326人の参加者を迎えることができました。ウェーブスタジアム刈谷は、高速道路網の発達で車でのアクセスが便利で、鉄道も刈谷駅から競技場までがやや不便ですが、刈谷駅までは便利で他県から来る参加者からも比較的好評でした。

天候は快晴ではありませんでしたが、風が強く短距離種目においては向い風が強く記録が出にくいコンディションでした。一方投擲種目では多くの好記録が出て、結果的には日本新1、大会新40、大会タイ1、愛知県新14となりました。その中でも中山淳子(名古屋市)は800m、1500m、3000mすべて大会新記録。1500m、3000mは、愛知県新記録の大活躍でした。9月に佐賀で行なわれる全日本マスターズ選手権大会での活躍が期待されます。

競技運営面では、審判員と補助員の確保は毎年苦労していますが、今回はその他に、東海選手権大会でしか実施していない棒高跳の、150cm程度の高さの設定とケガの未然防止に気を配りました。ハードル種目では、年齢クラスによる高さや距離の違いに加え、距離は同じでも年齢クラスによる、第1ハードルまでの距離やハードル間の距離の違いがあります。そのために迅速に上手くセットできるかが心配でした。そこでプログラムに年齢クラスごとに台数、高さ、第1ハードルまでの距離、ハードル間の距離、最後のハードルからゴールまでの距離を記載しました。また、トラックには前日、カラーのビニールテープですべてのハードルの位置に色を変えて貼付しておきました。

結果は、棒高跳は円滑に実施できましたが、ハードル種

目は、ハードルのセットに時間が掛かり、競技進行が20分ほど遅れました。当日の用器具係での指揮系統が上手く機能していなかったようで、プログラムの記載、前日のマーキングが上手く生かされなかったようでした。次回への課題となりました。

県のマスターズ記録会は4月20日(土)に第48回を開催しました。ウェーブスタジアムに小学2年生から90歳までの254人が参加して行なわれました。マスターズ公認レースには、北は群馬、南は福岡からも参加がありました。

6月16日(土)に第49回を開催しました。この日は岐阜マスターズ選手権大会と安城での中学通信西三河予選と重なりましたので、選手と審判員の確保が心配されましたが、選手は292人が参加して、審判員はやや手薄になりましたが、ボランティア4人に助けをいただき、円滑な運営ができました。

記録会は、三世交代の場として親・子・孫が交流する絶好の機会となりますので、小学生、中学生の部も継続していきたいと考えますが、半日で全て消化する現状では、250人から300人までが運営面での限度かなと感じています。(佐野 昭二)

競技会報告

名古屋ウィメンズマラソン 平成25年3月10日(日) ナゴヤドーム発着

■ウィメンズマラソンに関する感想

(参加した選手から)

- ・申し込みがなかなかつながらず大変だった。
- ・今年のTシャツは…。
- ・昨年より色々なことが改善されていて参加しやすかった。
- ・ゴール後、エリートと仕分けされるのが気になる。
- ・沿道の方や審判の方も声をかけてくれたりして、はげまされた。
- ・エリートもイケメンからティファニーが貰えた。

(ボランティアから)

- ・選手からありがとうって声をかけて貰い、びっくりしたけど嬉しかった。
- ・選手の元気にパワーを貰った。
- ・選手の皆さんは、マラソンをとっても楽しんでいる。
- ・トップアスリートの走りから市民ランナーやマラソンを楽しんでいる人等々、本当に様々で、それぞれに対応することが大切なことだと思った。

ホープさん ㊸

和田 瑞輝選手(田原中学校 3年)



JOBクラス100m表彰式

和田瑞輝選手は、小学5年生の時に全国大会で2位となり、地元でも有名な選手でした。2年前の春に本校陸上競技部へ入部し、東三通信1年100mで優勝したことを皮切りに、東海総体までの全大会で優勝し、一気に注目の選手となりました。この頃の彼に影響を与えていたのは、2つ年上の先輩でした。普段の練習から自分に厳しく練習するその姿に、自然と刺激を受けていました。追いつきたい目標が目の前にある環境の中で練習することができ、自然と力をつけていきました。そして、その勢いそのままジュニアオリンピック全国大会で3位の表彰台にも上ることができ、順風満帆な1年目のシーズンとなりました。

2年目のシーズンは、追う立場から追われる立場となり、「自ら目標を設定し努力する」そんな資質が試される年となりました。6月に自己ベストを更新したものの、全国標準記録に届かず、夏の全中に出場することはできませんでした。この頃の彼は、足を故障したこともあり、うまくいかないことへの悔しさや焦りを感じていた

ように思います。そんな中で迎えたジュニアオリンピック県大会では、優勝こそしたものの前年度と違い全国標準記録を突破できず、不安を抱えたまま全国大会へ参加することとなりました。全国大会では、予選前のアップで動きが鈍く、いつも通りの走りが出ていませんでした。それでも、予選、準決勝ともに2位で通過し、徐々に本来の走りを取り戻していきました。そして迎えた決勝の舞台。予選前の姿が嘘のような堂々とした姿で彼はスタート位置に立っていました。号砲と共に、いつも通りの伸びのある走りがそこにありました。結果は2位。その年一番の笑顔が輝いた瞬間でした。

彼の走りの持ち味は、体幹のバランスの良ささと足の回転の速さにあると思います。全国大会という舞台を経験する度に、自分の走りに自信をつけてきているように思います。また、昨年度のジュニアオリンピックでは、レースをする度に調子を上げ、決勝で一番いい走りができました。気持ちをコントロールし集中力を高めていく力は、彼のもう一つの持ち味ということに間違いのないと思います。

さて、3年目のシーズンが始まりました。「全国制覇」という目標を彼は胸に秘めています。今年は、幸いにも全中が瑞穂陸上競技場で行なわれます。彼の名前の由来通り「瑞穂で輝く」そんな瞬間を大いに期待したいものです。温かいご声援をよろしくお願

(八木 悟郎) 愛知選抜チームのリレー(2→3走)



スタート練習の様子



- ・年齢に関係なく参加される姿に感心する。
- ・ゴールでの選手の顔から、元気が貰える。

第2回とあって、かなり改善されていたので、選手も審判も随分スムーズに動いていたように思えます。また、スタート地点においては、昨年大混雑でしたが、今年は混雑もなく選手もスタート準備がしやすかったのではないかと思います。

ドーム内は女性審判員を中心に配置したので、女性のマラソンとしてはとても良いことだと思います。ただ、正直まだまだ女性を配置したい部署がたくさんあります。女性の審判資格取得者にアピールし、女性審判員を増員させる必要があります。これは、女性委員会としても課題の一つです。
(谷崎 好美)

2013 国体選手選考・強化普及競技会

2013年4月13日(土)・14日(日)
瑞穂公園陸上競技場・北陸上競技場

※1位のみ

	種目	記録	氏名	学年	所属	
男子	100m	10.92	近藤 晃	2	愛工大名電高	
	200m	21.28	寺田 健人	2	中京大	
	400m	47.74	中川 滋貴	3	豊川高	
	800m	1.53.77	加藤 大稀	2	南山大	
	1500m	3.58.73	川合 健太	3	中京大中京高	
	5000m	14.49.10	石原 幸始		TPAC	
	110mH	14.55	清水 陽平	2	中京大	
	400mH	52.78	山田 瑞輝	3	中京大	
	3000mSC	9.32.29	鈴木 健弘	3	千種高	
	5000mW	21.37.42	及川 文隆	3	愛知高	
	走幅跳	6.81	清野 達也	3	安城学園高	
	三段跳	14.30	遠山 雄耶	1	岐阜経済大	
	砲丸投	12.42	松尾 卓郎	2	愛知教育大	
	円盤投	31.85	本間 伸也		豊田自動織機	
	やり投	56.53	藤垣 諒	3	尾北高	
	男子	4×100mR	40.96	奥村 椋次	2	愛知学院大
				内野 隆	2	
丸山 裕史				4		
岩崎 翔太				4		
男子	4×400mR	3.18.47	伊東 雅哲	5	愛知学院大	
			安間 健登	2		
			三浦 央頌	2		
			土田 将輝	3		
男子高校	砲丸投	14.47	江崎 亮人	3	至学館高	
	円盤投	42.27	杵本 裕貴	3	名古屋高	
	ハンマー投	54.33	杵本 裕貴	3	名古屋高	
男子A	走高跳	2.11	赤井 裕明		愛知茗友ク	
	棒高跳	4.50	菅沼 真一	3	豊川高	
男子B	走高跳	1.97	菊池慎一郎	3	岡崎城西高	
	棒高跳	4.20	千藤 瑛司	1	豊川高	
男子少年A	110mJH	15.67	政岡 薫	1	中京大中京高	
男子少年B	砲丸投	12.43	加藤 大夢	3	高蔵寺中	
女子	種目	記録	氏名	学年	所属	
	100m	12.44	鷺見 咲江	3	一宮南高	
	200m	25.11	野村 真由	3	至学館高	
	400m	58.58	山田 晴帆	3	千種高	

女子	800m	2.16.58	佐々木明花	3	岡崎城西高
	1500m	4.34.10	中根 千明	2	中京大中京高
	3000m	9.45.56	中根 千明	2	中京大中京高
	5000m	19.39.06	古賀真由美	3	西春高
	100mH	14.47	岸 沙耶香		小島プレス
	400mH	1.01.98	大谷友梨恵	3	至学館大
	5000mW	24.44.64	加藤みづ紀	3	千種高
	棒高跳	3.00	船本 新奈	3	三好高
	走幅跳	5.72	中田 有紀		日本保育+ピス
	砲丸投	11.21	桂山 季湖	1	至学館高
	円盤投	33.78	中内 真悠	2	安城学園高
	ハンマー投	38.46	窪田 知香	3	長久手高
	やり投	46.77	横山真理奈	3	至学館大
	女子	4×100mR	47.96	橋詰 奈々	2
梶浦みずき				2	
伊藤 里帆				2	
加藤 優実				2	
女子	4×400mR	3.59.92	藤井 琴	2	瑞陵高
			浅井 茅子	3	
			本多 里帆	3	
			古澤みのり	2	
女子A	走高跳	1.72	炭 水土里	4	中京大
女子B	走高跳	1.59	佐藤 菜南	2	名古屋市立大
男子少年B	100mYH	15.55	鈴木 瑞希	3	扇台中

2013 国体選手選考春季選抜競技会

2013年4月21日(日) 瑞穂公園陸上競技場・北陸上競技場

※1位のみ

	種目	記録	氏名	学年	所属
男子成年	100m	10.75	田中 星次		トヨタ自動車
	400m	48.71	中野 弘幸		愛知陸協
	110mH	14.33	清水 陽平	2	中京大
	400mH	54.64	和田 拓己	4	名古屋工業大
	走高跳	2.03	赤井 裕明		愛知茗友ク
	走幅跳	7.24	東 孝一		小島プレス
	砲丸投	13.04	小山祐一郎		密柑山
	ハンマー投	51.23	石田 孝正		Deaf Club
男子少年A	やり投	54.94	陰浦 隆博		トヨタ自動車
	100m	10.80	近藤 晃	2	愛工大名電高
	400m	48.78	中川 滋貴	3	豊川高
	5000m	15.39.88	鈴木 阜平	3	時習館高
	110mH	14.62	山本 健太	3	阿久比高
	走幅跳	6.83	鳥居 凌大	2	岡崎城西高
	三段跳	13.55	中島 恭佑	2	安城学園高
男子少年B	砲丸投	14.23	江崎 亮人	3	至学館高
	やり投	61.60	藤垣 諒	3	尾北高
	200m	22.60	松尾 直佳	1	愛工大名電高
	3000m	9.12.43	齋藤 幹峻	1	時習館高
	110mJH	15.11	深谷 隼斗	1	愛工大名電高
	走幅跳	6.47	近藤 全	1	瑞陵高
男子少年共通	砲丸投	12.70	加藤 大夢	3	高蔵寺中
	800m	2.02.56	近藤 優輝	3	至学館高
	走高跳	2.03	影山 耀右	3	至学館高
	棒高跳	4.90	鈴木 康太	3	岡崎城西高
男子少年共通	円盤投	43.76	杵本 裕貴	3	名古屋高

男子J O A	100m	11.24	和田 瑞輝	3	田原中
	3000m	9.42.49	木村 駿	3	知多 TC
	110mJH	15.98	小林 慧吾	3	千種台中
	走高跳	1.65	光崎 剛史	3	木曾川中
男子J O B	100m	11.77	大原 康平	2	なごや陸上ク
	1500m	4.36.92	竹内 恵唯	2	大口中
	110mYH	16.98	齋藤 薫	2	富士中
	砲丸投	11.43	猪上 凌太	2	高蔵寺中
男子 選 手	円盤投	28.89	加藤 大夢	3	高蔵寺中

	種目	記録	氏名	学年	所属
女子成年	100m	12.67	船坂 実来	3	愛知教育大
	400m	58.28	木引悠起子	3	愛知教育大
	800m	2.17.01	竹内麻里子	2	中京大
	400mH	1.03.22	大谷友梨恵	3	至学館大
	走高跳	DNS			
	三段跳	11.66	小川 詩織		愛知アスリート
	女子少年A	100m	12.18	林 采花	3
400m		59.80	北野 有紀	3	愛知淑徳高
3000m		9.53.38	中根 千明	2	中京大中京高
100mH		14.88	古澤 彩果	2	中京大中京高
走幅跳		5.63	石原 薫子	3	岡崎城西高
女子少年B	ハンマー投	41.60	田口 優	3	一宮北高
	200m	25.72	掛川 栞	3	栄中
	1500m	4.52.60	西川 優衣	3	愛知陸協
女子少年共通	100mYH	15.07	吉田 奈生	1	愛知淑徳高
	走幅跳	5.39	明星 光	3	きらめき AC
	800m	2.22.29	伊藤 麻子	3	至学館高
	走高跳	1.60	杉浦 澄美	3	岡崎城西高
	棒高跳	3.00	船本 新奈	3	三好高
女子J O A	砲丸投	11.04	丸山 夏美	3	碧南高
	やり投	46.32	森 凧紗	2	名城大附属高
	100m	12.73	釜田 留奈	3	なごや陸上ク
女子J O B	3000m	10.17.67	井内 月野	3	知多 TC
	走高跳	1.55	塚田 彩楓	3	桜田中
	砲丸投	8.41	木村 朱里	3	長良中
	100m	12.79	長谷川愛樹	2	なごや陸上ク
	1500m	4.54.38	酒井 美有	2	栄中
男子 選 手	100mH	15.87	古橋 佳奈	2	桜田中
	走幅跳	5.23	河井かのこ	2	古知野中
	砲丸投	9.89	近藤 沙奈	2	扇台中
円盤投	25.04	僧理みのり	3	高蔵寺中	

第79回東海学生陸上競技対校選手権大会
平成25年5月17日(金)～19日(日)
瑞穂公園陸上競技場・北陸上競技場

※1位のみ

※GR:大会新記録 *C2:走幅跳セカンドで公認 *C1:追風参考(得点非公認)

	種目	記録	氏名	学年	校名
男子トラック	100m	10.70	寺田 健人	2	中京大
	200m	21.54	田村 朋也	3	中京大
	400m	46.80	加藤 良祐	S1	豊田高専
	800m	1.52.81	北島 寛也	3	中京大
	1500m	3.56.78	若菜 純一	3	皇學館大
	5000m	14.42.04	朝倉 和真	3	静岡大
	10000m	30.24.30	萱垣 義樹	4	愛工大

男子トラック	110mH	14.29	佐野 成	4	静岡大
	400mH	50.88	安部 孝駿	4	中京大
	3000mSC	9.14.94	佐橋 誠也	3	中京大
	10000mW	44.12.73	戸松 弘成	2	愛教大
男子トラック	4×100mR	40.14	屋貝 博文 与那国 塁 寺田 健人 大野 将士	M1 2 2 3	中京大学
	4×400mR	3.12.66	川野 直哉 山本 智也 東 魁輝 高橋 拓也	1 3 2 3	岐阜経済大学
男子フィールド	走高跳	2.05	槽谷 隆明	2	愛教大
	棒高跳	5.74 GR	山本 聖途	4	中京大
	走幅跳	7.45	南 晋太郎	3	中京大
	三段跳	15.88	佐脇 匠	4	愛教大
	砲丸投	17.88 GR	山元 隼	4	中京大
	円盤投	48.69	湯上 剛輝	2	中京大
	ハンマー投	65.78	遠藤 克弥	4	中京大
	やり投	66.06	加藤 翼	3	中京大
混成	十種競技	6869*C2 *C1	吉村真之介	3	中京大

最優秀選手 山本聖途 中京大 棒高跳 優勝 大会新

	種目	記録	氏名	学年	校名
女子トラック	100m	12.34	中尾 優里	3	中京大
	200m	25.15	中尾 優里	3	中京大
	400m	55.63	名倉 彩夏	1	中京大
	800m	2.09.84	竹内麻里子	2	中京大
	1500m	4.25.88	荘司 麻衣	2	中京大
	5000m	16.11.69	荘司 麻衣	2	中京大
	10000m	32.49.02 GR	鈴木亜由子	4	名大
	4×100mR	46.78	伊達 愛美 中尾 優里 名倉 彩夏 田中 美沙	2 3 1 3	中京大学
	4×400mR	3.48.13	平手 佑佳 田中 美沙 名倉 彩夏 竹内麻里子	1 3 1 2	中京大学
	女子フィールド	走高跳	1.73	相馬 由佳	2
棒高跳		3.81 GR	有川 星女	M1	中京大
走幅跳		6.01	桐山 智衣	4	中京大
三段跳		11.79	大道 爽香	3	愛教大
砲丸投		14.26	中田恵莉子	3	中京大
円盤投		45.97	中田恵莉子	3	中京大
ハンマー投		52.43	中島 未歩	3	中京大
やり投	53.07 GR	中島 美穂	1	中京大	
混成	七種競技	5469 GR	桐山 智衣	4	中京大

最優秀選手 桐山 智衣 中京大 100mH、走幅跳、七種競技 優勝

第12回東海マスタース陸上競技選手権大会
平成25年5月19日(日) ウェーブスタジアム刈谷

結果(新記録のみ)

クラス	氏名	年齢	記録	順位	備考
男子 400m	M30 本田 直也	31	50.57	1	大会新

名岐駅伝いまむかし⑨

第29回大会(1963、昭和38年1月27日)

優勝：一般一部(10チーム)中京大、二部(20チーム)旭ダウ鈴鹿、高校一部(13チーム)中京商、二部(20チーム)東濃
 本大会は、5県から参加した63チームの選手が、一般は9時に愛知県庁前を、高校は11時に岐阜県庁前をスタート。青空の下、「昇竜旗」を目指して熱戦を展開した。

[レースの経緯]

一般：〈一部〉一週間前の東海学生駅伝で全区間賞を独占して8連勝を遂げた中京大(幸村、江藤、東、酒井、山田、渡辺、加藤)が、終始東洋レーヨンとトップ争いを演じたが、3、4区走者の快走で5区では両者の間は1分44秒差、6区で東レ天野が34秒差に追い上げたが、中京大が逃げ切り4時間58分43秒で3連覇。2位の東レも大会新でゴール。〈二部〉は、元旭化成組を中心とした旭ダウ鈴鹿(永野、小名、岡町、丸毛、宇和、本郷、中野)が一部の3位に相当する5時間05分09秒の好タイムで2位に大差をつけて初参加初優勝を果たす。

高校：〈一部〉1区で東邦(小川)に30秒近い差をつけられたが、2、3、5、6区で区間賞の快走をみせた中京商(室田、浜野、山口、古川原、白井、後藤、成瀬)が2時間30分40秒で12度目の優勝を果たした。2位の享栄はアンカー野田が区間新で中京商を迫したが、今一步及ばなかった。〈二部〉は上位3位まで岐阜県勢が占めたが、なかでも1区で中京商を上回る好走をみせた東濃(小倉、永瀬、伊藤、小栗、川合、山内、吉田)が、一部の9位に相当する2時間40分22秒の健闘をみせた。

2位以下の結果は、次のとおりである(原則として、一・二部とも4位以下は愛知県勢のみ記載。また、タイムは特別な場合を除き、一部3位まで記載。(以下、同じ。)

- 一般：第一部 ②東洋レ5.00.30 ③三菱自5.05.58 ⑤中央発条 ⑥名商大 ⑦渡玉毛織 ⑧新三菱名古屋 ⑨自衛隊愛知 ⑩愛知県庁
 第二部 ②トヨタ自 ③第三相互銀行 ④日本碍子 ⑥東芝名古屋 ⑦瀬戸陸協 ⑧高浜青 ⑨協同乳業 ⑩森永乳業 ⑪第一毛織 ⑫東海銀行 ⑬トヨタ車体 ⑭菊里ク ⑮ワシノ機械 ⑯中電新名火力 ⑰日本ハードボード工業 ⑱山二 ⑲名走友ク(注)岡本ベニヤは1区走者未完走で失格。
 高校：第一部 ②享栄商2.33.17 ③中津商2.34.27 ④豊橋工 ⑤東邦 ⑥名商大付 ⑧大同工 ⑩名城大付 ⑪半田商 ⑫成章
 第二部 ②加茂2.41.13 ③多治見北2.41.40 ④安城農 ⑤岡崎工 ⑦木曾川 ⑨渥美農 ⑩新城 ⑪小牧 ⑫稲沢 ⑬瀬戸 ⑭昭和 ⑮愛知 ⑯田口 ⑰名市商 ⑱半田農 ⑲西尾実 ⑳西陵商

第30回大会(1964、昭和39年1月19日)

優勝：一般一部(12チーム)東洋ベア桑名、二部(22チーム)上伊那陸協、高校一部(15チーム)中京商、二部(20チーム)瑞浪(定時制)

大会1週間前から、中日新聞に5回にわたって「有力チームの横顔」と「有力チームを探る」(上・下)が掲載され、30回を迎える大会を盛り上げるために一般・高校の一部から、それぞれ8チームをとり上げ、大会への意気込みや選手の実力等からその戦力を詳細に分析した。

[レースの経緯]

1区で、学生界の雄中京大と実業団の雄東洋ベア、鈴木自、東洋レの選手が区間新の快走をみせ、4強の熱戦の火ぶたが切られた。四連覇をねらう中京大は2区までトップを走っていたが、3区で東洋ベア、4区で鈴木自と首位が交代した。5区でトップを奪回した東洋ベア(松田、愛敬、蜂谷、内田、大川、中野、中村)が、激しく追い上げてきた鈴木自に8秒の僅差ながら4時間56分37秒の大会新で4回目の優勝を果たす(写真A)。今回は新コースになって3回目とはいえ、1、2、4、5、6区で14人が区間新を出す力走をみせた。〈二部〉は、初陣の長野・上伊那陸協(唐沢平、赤沼、唐沢公、上島、白石、倉田、唐沢君)が、2区で東洋ベア磐田に首位を奪われたが、3区ですぐに奪回し、そのまま一部の6位に相当する5時間09分12秒で優勝を果たす。第一回大会から参加している柴垣らを中心とする名走友クもよく健闘したが、東洋ベアに109分遅れの6時間45分37秒でゴール。



A: 熾烈なレースを制した東洋ベア中村選手のゴール

高校：〈一部〉昨年末の全国高校駅伝を大会新で念願の初優勝を飾った中京商(白井、山口、古川原、田中、後藤、室田、成瀬)が、IHと国体の5000Mで勝った白井が2位に大差をつける区間新でトップに立ち、2区以降も7区以外の走者が区間賞の快走で圧勝し、7連勝、13度目の優勝を遂げたが(写真B)、記録は2時間29分23秒で大会新の更新はならなかった。2位以下は8位の名商大付までの7校が2分45秒以内で区間ごとに順位が入かわる熾烈な2位争いが展開された。〈二部〉は岐阜駅伝で大垣工を破り、中津商、長良に次いで3位になった瑞浪(定時制)と渥美農、斐太実の3校が有力視されたが、2区で一・二部を通して区間2位の好走をみせた瑞浪(小栗、南、近藤、稲垣、土屋、小栗、三浦)が定時制としてはじめての優勝を果たす。



B: 喜びっぱいの中京商選手たち

2位以下の結果は次のとおりである。

- 一般：第一部 ②鈴木自4.56.45 ③中京大4.59.40 ④東洋レ愛知 ⑤中央発条 ⑦トヨタ自 ⑧新三菱名 ⑨渡玉毛織 ⑩自衛隊愛知 ⑪第三相互銀行(注)名商大は第3走者棄権のため失格
 第二部 ②東洋ベア磐田5.16.00 ③東芝三重5.24.57 ④愛知県庁 ⑤日本碍子 ⑥東芝名古屋 ⑦東洋レ名古屋 ⑧安城体協 ⑩中電新名火力 ⑪第一毛織 ⑫森永乳業 ⑬東海理化 ⑭住友軽金属 ⑮ワシノ機械 ⑯東海銀行 ⑰神戸製鋼 ⑱菊里ク ⑲中電名古屋 ⑳瀬戸陸協 ㉑日本ハードボード工業 ㉒名走友ク
 高校：第一部 ②享栄商2.34.16 ③中津商2.35.06 ⑤大同工 ⑦東邦 ⑨名商大付 ⑪豊橋工 ⑫岡崎工 ⑬名城大付 ⑮安城農
 第二部 ②岐阜農2.41.11 ③渥美農2.41.55 ⑥田口 ⑦成章 ⑨名古屋商 ⑩一宮商 ⑪稲沢 ⑫長久手 ⑬半田商 ⑭半田農 ⑮木曾川 ⑯岡崎商 ⑰名市工 ⑱岡崎北 ⑲昭和 ⑳西尾実(西垣 完彦)

男子 800m	M35 鈴木 博章	37	2.01.09	1	大会新
男子 1500m	M55 中山 史信	55	4.41.18	1	大会新
	M90 野澤 正治	90	10.10.08	1	日本新
男子 5000m	M70 大泉 通	70	21.08.28	1	大会新
男子ハンマー投	M70 山田 博嗣	72	49.47	1	大会新
女子 60m	W35 酒井あおい	38	8.34	1	大会新
女子 200m	W35 酒井あおい	38	27.64	1	大会新
	W50 碓井由紀子	52	30.55	1	大会新
女子 800m	W55 中山 淳子	55	2.42.36	1	大会新
女子 1500m	W45 長坂 恵子	45	5.02.65	1	大会新
	W55 中山 淳子	55	5.17.13	1	大会新
女子 3000m	W50 大角 明美	54	14.42.29	1	大会新
	W55 中山 淳子	55	11.27.37	1	大会新
女子円盤投	W65 加藤 敦子	67	26.68	1	大会新
女子やり投	W50 山田 美智	51	28.24	1	大会新

**第 67 回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会
兼秩父宮杯第 66 回全国高等学校陸上競技対校
選手権大会東海地区予選会愛知県大会
2013年5月24日(金)～26日(日)名古屋市瑞穂公園陸上競技場**

※ 1 位のみ ※PR：県高校新、GR：大会新

	種目	記録	氏名	学校名
男子トラック	100m	11.10	近藤 晃	愛工大名電
	200m	21.88	中川 滋貴	豊川
	400m	47.21 (GR)	中川 滋貴	豊川
	800m	1.56.87	櫻川 皓市	瑞陵
	1500m	4.00.04	新田 裕貴	豊川
	5000m	14.39.01	皆浦 巧	豊川
	110mH	14.53	山本 健太	阿久比
	400mH	52.96	大久保直哉	安城学園
	3000mSC	9.07.66	竹内 大地	中京大中京
	5000mW	21.24.26	及川 文隆	愛知
男子トラック	4×100mR	41.36	大場 将太 中川 滋貴 鈴木 柊弥 黒木 省悟	豊川
	4×400mR	3.18.42	伊藤 友明 坂口 潤 伊藤 慎吾 近藤 優輝	至学館
男子フィールド	走高跳	2.00	菊池慎一郎	岡崎城西
	棒高跳	4.60	鈴木 康太	岡崎城西
	走幅跳	7.01	横地 秀春	中京大中京
	三段跳	14.49	坂本 翔太	安城学園
	砲丸投	14.25	江崎 亮人	至学館
	円盤投	43.90 (GR)	杵本 裕貴	名古屋
	ハンマー投	56.58	杵本 裕貴	名古屋
	やり投	63.06	加古 祥大	向陽
八種	5451 点	平林 卓磨	名城大附	

総合

①中京大中京 63 点 ②豊川 46 点 ③名古屋 33 点

トラック

①豊川 37 点 ②中京大中京 36.5 点 ③至学館 15 点

フィールド

①名古屋 22 点 ②中京大中京 21.5 点 ③岡崎城西 20 点

※ 1 位のみ ※PR：県高校新、GR：大会新

	種目	記録	氏名	学校名
女子トラック	100m	12.53	丹羽愛利彩	愛工大名電
	200m	24.82	林 采花	西春
	400m	56.73	北野 有紀	愛知淑徳
	800m	2.12.64	佐々木明花	岡崎城西
	1500m	4.28.27	中根 千明	中京大中京
	3000m	9.17.80	中根 千明	中京大中京
	100mH	13.97	萩原加奈子	豊橋南
	400mH	1.01.63 (GR)	北野 有紀	愛知淑徳
	5000mW	24.52.32	加藤みづ紀	千種
	4×100mR	48.16	杉浦 七海 中山 恰佳 森田 冴香 藤原 涼花	岡崎城西
4×400mR	3.55.53	宮下 秋穂 梶浦みずき 久保坂優子 荻野 千春	愛知	
女子フィールド	走高跳	1.70	杉浦 澄美	岡崎城西
	走幅跳	5.69	石原 薫子	岡崎城西
	砲丸投	11.70	丸山 夏美	碧南
	円盤投	35.52	岡田はるな	三好
	やり投	45.83 (GR)	森 凧紗	名城大附
七種	4665 点	貫井 茜	明和	

総合

①中京大中京 41 点 ②岡崎城西 33 点 ③至学館 32 点

トラック

①中京大中京 28 点 ②千種 20 点 ③岡崎城西 19 点

フィールド

①岡崎城西 14 点 ②至学館 14 点 ③三好 11 点

**第 97 回 日本陸上競技選手権大会
2013年6月7日(金)～9日(日)味の素スタジアム**

男子

種目	順位	記録	氏名	学校名
400m	3	46.23	中野 弘幸	愛知陸協
110mH	3	13.66	古川裕太郎	小島プレス
走高跳	5	2.15	赤井 裕明	愛知茗友クラブ
棒高跳	1	5.70	山本 聖途	中京大
	6	5.30	藤 清貴	中京大
ハンマー投	1	76.42	室伏 広治	ミズノ
十種競技	4	6410	坂本 憲哉	中京大

女子

種目	順位	記録	氏名	学校名
200m	5	24.19	今井沙緒里	鈴波
800m	6	2.10.39	竹内麻里子	中京大
5000m	4	15.31.45	鈴木亜由子	名古屋大

走幅跳	8	5.90	浅井 真子	中京大
ハンマー投	8	56.51	野田 奈央	名古屋学院クラブ
七種競技	3	5356	中田 有紀	日本保育サービス
	7	4920	河崎梓穂璃	中京大
七種競技	7	4599	貫井 茜	明和高

第64回愛知県高等学校定時制通信制陸上競技大会
 平成25年6月8日(土) 知多運動公園陸上競技場

男子 (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	牧野 駿	豊橋	11.7
200m	日高 丈貴	刈谷東夜	23.6
400m	日高 丈貴	刈谷東夜	52.4
800m	山下 耕平	大府	2.19.9
1500m	中村 昶	科技刈谷	4.52.0
5000m	伴 紘輝	科技刈谷	18.04.6
400mH	大竹 駿人	科技刈谷	1.05.0
3000mSC	坂元裕二郎	科技刈谷	12.21.1
4×100mR	相羽・大竹・根石・井上		47.1
4×400mR	山田・伴・中村・川添		3.59.2
走高跳	赤嶺マイキ	豊橋	1.60
走幅跳	光武 悠吾	大府	6.31
三段跳	光武 悠吾	大府	12.40
砲丸投	市川 幹人	科技刈谷	9.47
円盤投	市川 幹人	科技刈谷	26.97

女子 (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	長谷川里紗	一宮	14.4
200m	長崎 里香	刈谷東昼	30.4
400m	伊東 愛莉	科技刈谷	1.13.9
800m	榊原かずみ	半田商	3.00.5
3000m	吉原 悠	名古屋西	14.20.4
100mH	山口 浩美	豊橋	21.3
4×100mR	渥美・山口・プロカ・小柳津		57.4
走高跳	山口 浩美	豊橋	1.54 大会新
走幅跳	小柳津了世	豊橋	4.12
砲丸投	清原 香代	半田商	8.38
円盤投	池田なぎさ	小牧	21.34

第60回東海高等学校総合体育大会兼秩父宮賜杯

第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会
 平成25年6月21日(金)～23日(日) 三重県営陸上競技場

男子 斜体：大会新

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	2	10.80	近藤 晃	愛工大名電
200m	4	22.01	児島 大樹	江南
	6	22.02	井上 脩吾	栄徳
	7	22.02	中川 滋貴	豊川
	3	47.10	中川 滋貴	豊川
400m	3	1.56.06	近藤 剛史	東海南
	4	1.56.26	永山 周輝	千種
	5	1.56.30	近藤 優輝	至学館
	6	1.56.41	櫻川 皓市	瑞陵
1500m	8	3.59.15	川合 健太	中京大中京

5000m	2	14.35.22	皆浦 巧	豊川
	4	14.38.54	飛田 航兵	豊川
	6	14.39.48	富安 央	豊川工
	8	14.46.56	山藤 篤司	愛知
110mH	1	14.61	矢野 智大	中京大中京
	3	14.71	山本 健太	阿久比
	7	15.17	福島 英樹	中京大中京
400mH	2	53.37	大久保直哉	安城学園
	4	53.87	真野悠太郎	滝
	5	53.90	水野 敬介	一宮
	7	54.19	小田 将矢	滝
	8	54.19	内藤 大貴	豊橋工
3000mSC	1	9.07.82	竹内 大地	中京大中京
	3	9.14.94	川瀬 宙夢	刈谷
	4	9.16.27	石川 純平	岡崎城西
	7	9.17.25	鈴木 健弘	千種
5000mW	1	21.22.99	及川 文隆	愛知
	2	21.59.94	大本 康平	明和
4×100mR	3	41.19	渡邊圭一郎 村瀬 翔太 遠藤 侑汰 島 航汰	中京大中京
	5	41.30	津坂 亮博 近藤 晃 田口 和樹 池田 悠城	愛工大名電
	7	41.37	大場 将太 中川 滋貴 鈴木 柊弥 黒木 省悟	豊川
4×400mR	8	41.79	磯谷 凌 川端 健太 中根 啓 佐藤 礼基	岡崎城西
	3	3.15.10	中野 俊助 金森 怜也 古元 翼 掛川 真	名古屋
4×400mR	5	3.17.45	牛垣 翔太 川端 健太 廣木 脩斗 佐藤 礼基	岡崎城西
	8	3.26.33	池山 佑太 石田 大貴 神保 翔一 中山 聖	津島
走高跳	3	1.98	影山 耀右	至学館
	4	1.98	中島 恭佑	安城学園
	8	1.95	菊池慎一郎	岡崎城西
棒高跳	1	5.00	鈴木 康太	岡崎城西
	4	4.60	菅沼 真一	豊川
	8	4.40	野村 大成	中京大中京
	5	7.09	渡邊圭一郎	中京大中京
三段跳	2	14.83	坂本 翔太	安城学園
	4	14.71	奥谷 卓音	東海
	5	14.34	横地 秀春	中京大中京
円盤投	2	46.54	杵本 裕貴	名古屋
	7	39.48	鈴木 慶彦	向陽
ハンマー投	3	55.32	杵本 裕貴	名古屋

やり投	3	59.05	土井 健男	一宮北
	6	57.60	大久保直輝	名古屋
	8	57.36	浅野雄一朗	一宮
八種競技	2	5417	平林 卓磨	名城大附
	3	5366	矢野 智大	中京大中京
	5	5239	川島 大征	岡崎商
	6	5064	太地 直哉	豊橋工
総合	3位：中京大中京 24点 7位：豊川 15点			
トラック	3位：中京大中京 16点 6位：豊川 12点			
フィールド	3位：名古屋 10点			

4×100mR	8	48.13	河合 詩葉 中野 真琴 深谷 実李 小林紗矢香	安城学園
4×400mR	2	3.50.03	柴山沙也香 宮脇 玲菜 竹内 涼子 野村 真由	至学館
	3	3.51.51	宮下 秋穂 梶浦みずき 伊藤 里帆 荻野 千春	愛知
	6	3.53.29	大平 千夏 吉岡 鮎美 手嶋 風理 深谷 茜	光ヶ丘女子
	7	3.55.64	藤井 琴 浅井 茅子 本多 里帆 古澤みのり	瑞陵
走高跳	1	1.67	松井 紗希	中京大中京
	4	1.64	大和田ゆうか	豊川
走幅跳	1	5.66	山内菜有里	千種
	2	5.64	石原 薫子	岡崎城西
円盤投	1	36.71	能澤 照実	名古屋大谷
	2	36.21	丸山 夏美	碧南
やり投	2	48.00	森 風紗	名城大附
七種競技	2	4721	貫井 茜	明和
総合	2位：中京大中京 25点 4位：豊川 17点 6位：至学館 12点 8位：岡崎城西 10点			
トラック	3位：中京大中京 16点 4位：豊川 15点 5位：至学館 12点 7位：豊橋南・愛知淑徳 8点			
フィールド	3位：千種・名古屋大谷・中京大中京 6点 7位：碧南・名城大附・岡崎城西 5点			

女子

斜体：大会新

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	2	12.05	杉山 美貴	中京大中京
	3	12.07	丹羽愛利彩	愛工大名電
	7	12.24	野村 真由	至学館
	8	12.29	中野 真琴	安城学園
200m	4	24.69	野村 真由	至学館
	6	24.74	鷺見 咲江	一宮南
	7	24.81	丹羽愛利彩	愛工大名電
400m	5	56.37	北野 有紀	愛知淑徳
	6	56.65	山田 晴帆	千種
	8	57.43	荻野 千春	愛知
800m	3	2.12.25	佐々木明花	岡崎城西
	6	2.15.66	森田 琴乃	千種
	8	2.23.96	諸富 愛奈	岡崎城西
1500m	1	4.20.74	鷺見 梓沙	豊川
	2	4.24.40	中根 千明	中京大中京
	4	4.26.85	山田日菜野	豊川
	7	4.34.48	森田 琴乃	千種
3000m	1	9.17.38	中根 千明	中京大中京
	2	9.18.97	加治屋ななこ	豊川
	3	9.20.29	茶谷 琴恵	豊川工
	5	9.21.49	渡邊 喜恵	人環大岡崎
	6	9.23.81	神蘭 佳苗	豊川
100mH	1	13.92	萩原加奈子	豊橋南
	7	14.67	藤原 涼花	岡崎城西
	8	14.70	古澤 彩果	中京大中京
400mH	1	1.01.39	北野 有紀	愛知淑徳
	3	1.02.62	谷 実咲	長久手
	5	1.02.95	鈴木 萌	日進西
5000mW	3	24.23.96	杉本 梨保	至学館
	5	24.34.63	国澤 望	岡崎商
	6	24.47.34	加藤みづ紀	千種
4×100mR	5	47.72	柴田 琴美 ノベラ アリサ 内山はるな 萩原加奈子	豊橋南
	6	47.73	杉浦 七海 中山 怜佳 森田 芽香 藤原 涼花	岡崎城西
	7	47.89	宮下 秋穂 梶浦みずき 浜田 奈子 加藤 優実	愛知

2013 愛知県小学生リレー大会
2013年6月22日(土) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子

(GR：大会新記録)

種目名	1位	2位	3位
全国 4×100mR	安城JAC-A 52.88 丸山 大智 鳥居 洋介 増田 和紀 太田 雄斗	TSM 53.21 鈴木 大河 笠井 将英 小柳 界力 大崎 雅人	なごや陸上ク 54.22 小林 莊太 神谷 翔矢 齋藤 啓 源
4年 50m	高橋 隼人 7.52 TSM GR	榮 豊唯 7.82 豊橋陸上クラブ	竹内 悠貴 7.92 蒲郡クラブ
5年 100m	鈴木 大河 13.65 TSM	三ヶ尻祐大 13.67 TSM	谷口 智紀 13.84 作野 AC
6年 100m	大崎 雅人 13.17 TSM	松田 源 13.39 なごや陸上ク	太田 雄斗 13.44 安城 JAC
全国80mH (0.700m)	中村 洋介 13.34 成岩 SC 陸上	服部 凱香 13.81 千代田橋 AC	小柳 界力 13.85 TSM
全国 走高跳	大澤 祐斗 1.25 TSM	山本 尚 1.25 豊川陸上教室	大岩 央祐 1.25 成岩 SC 陸上
4年 走幅跳	久米 晃史 4.00 JAC 武豊	大嶋 駿斗 3.56 田原陸上クラブ	中原 悠斗 3.47 へきなんクラブ
全国 走幅跳	神谷 翔矢 4.78 なごや陸上ク	彦坂 泰地 4.69 田原陸上クラブ	澤田 佳樹 4.44 JAC 武豊
全国 ソフトボール投	豊嶋 駿介 57.22 辻クラブ	神崎 一毅 56.52 TSM	加藤 健輔 50.42 作野 AC

女子

(GR:大会新記録)

Table with 4 columns: 種目名, 1位, 2位, 3位. Rows include 4x100mR, 4x400mR, 4年50m, 5年100m, 6年100m, 全国80mH, 全国走高跳, 4年走幅跳, 全国走幅跳, 全国ソフトボール投.

混合

Table with 4 columns: 種目名, 1位, 2位, 3位. Rows include 4年4x100mR, 5年4x100mR.

2013東海混成競技大会兼第34回愛知県混成競技大会兼第73回愛知選手権リレー兼国体選考競技会・ジュニア記録会兼第10回愛知レディース陸上競技大会 2013年7月6日(土)・7日(日)名古屋瑞穂公園陸上競技場

(GR:大会新記録)

Table with 5 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 東海男子混成十種競技, 愛知男子混成十種競技, 愛知女子混成七種競技, 選手権男子, 選手権女子.

Large table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 選手権女子, 国体男子少年B, 国体女子少年B, ジュニア男子, ジュニア女子, レディース中学, レディース一般.

レディース一般	砲丸投 (4.000kg)	佐藤 眞子 10.82 大府高	早瀬 名那 10.81 瑞陵高	中村 彩花 10.81 豊橋東高
	円盤投 (1.000kg)	田口 優 34.13 一宮北高	岡田はるな 32.92 三好高	牧 亜香里 30.65 中京大中京高
	やり投 (0.600kg)	中内 真悠 39.42 安城学園高	寺田 美紅 37.76 岡崎商高	浅井 里絵 37.12 日進西高
レディース共通	棒高跳	佐藤 愛 3.40 GR 中京大中京高	船本 新奈 3.20 三好高	所 杏子 2.90 中京大中京高
	100+200+300+400mR	中京大中京高2:19.22 小嶋 梨菜 早川 有香 深谷 亜以 若田帆乃夏	明和高 2:21.20 景山 悠里 長谷川友香 高野 莉万 貫井 茜	愛知学院大学2:24.20 市川 椎菜 山脇 生愛 上岸みさき 足立 佳世

加盟料受入収益	5,348,000	5,559,000	△ 211,000
受取寄付金	150,000	200,000	△ 50,000
受取委託金・助成金	48,143,148	60,405,476	△ 12,262,328
事業収益	25,355,730	26,695,120	△ 1,339,390
その他事業収益	0	1,165,500	△ 1,165,500
雑収益	1,466,526	1,715,836	△ 249,310
経常収益計	97,788,604	112,218,782	△ 14,430,178

理事会等会議報告

○ 4月理事会 25年4月26日(金) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ①平成25年度一般財団法人愛知陸上競技協会組織について
 - ア 協会役員
 - イ 専門委員長一覧表
 - ウ 専門委員会委員
 - エ 各地区組織表
- ②平成25年度専門委員会の方針について
- ③平成25年度年間競技日程について
- ④理事会予定について
- ⑤その他

2 報告事項

- ①一般財団法人愛知陸上競技協会定款
- ②第40回全日本中学校陸上競技選手権大会について
- ③ウィメンズマラソン結果
- ④瑞穂陸上競技場使用料(負担額)について
- ⑤日本陸連より
- ⑥駅伝カーニバルについて
- ⑦その他

○ 6月理事会 25年6月4日(火) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ①平成24年度一般概要報告・事業報告
- ②平成24年度決算報告・監査報告
- ③任期満了に伴う理事及び監事の選任について
- ④平成25年度事業計画
- ⑤平成25年度予算書

2 報告事項

- ①平成25年度愛知陸協会長表彰被表彰者の推薦について
- ②第73回愛知選手権大会選手権賞寄贈の依頼について
- ③2013日本ジュニア・ユース選手権大会について
- ④マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知について
- ⑤全日本中学校陸上競技選手権大会について
- ⑥各専門委員会報告
- ⑦その他

(水野 隆夫)

支出の部

単位：円

	当年度	前年度	前年差額
事業費	70,976,120	87,123,861	△ 16,147,741
管理費	23,793,059	22,658,431	1,134,628
経常費用計	94,769,179	109,782,292	△ 15,013,113
当期経常増減額	3,019,425	2,436,490	582,935
当期正味財産増減額	3,019,425	2,436,490	582,935
一般正味財産期首残高	108,728,787	106,292,297	2,436,490
一般正味財産期末残高	111,748,212	108,728,787	3,019,425

栄章

おめでとうございます

○愛知陸上競技協会会長表彰

平成25年7月21日(日)に表彰式がおこなわれました。長年の愛知陸協への貢献が認められ、表彰された方は、次の5名の皆さんです。おめでとうございます。

- (尾張) 佐藤 友行 高山幸四郎
- (西三河) 小林 義孝 木村 忠弘
- (東三河) 園部 安喜



また、日本陸連より高校優秀選手章に平 和真(豊川工)、中学優秀選手章に深谷準斗(有松)の2選手が表彰されました。おめでとうございます。(水野 隆夫)

編集後記

◇鈴木選手のユニバー金メダルは、猛暑を吹き飛ばす朗報だ。世界選手権への期待もふくらむ。◇トラックシーズン前半が終わったが、全日中、日本ジュニア・ユースと大会が続く。◇稲垣新体制のもと、選手の頑張りや役員・審判員の支えが重要だ。◇今年度より3回の発行となったが、寄稿して下さった方々に深謝。

編集委員

- 大西 敏功 小坂 拓 榊原 英司 寺尾 健
- 新見 精三 西垣 完彦 野口 一昭 山下ゆかり
- 横田小百合

平成24年度決算 対前年度比較

収入の部

単位：円

	当年度	前年度	前年差額
登録料受入収益	17,325,200	16,477,850	847,350